

“施工現場” 未来のカタチ

ロボティクス・ICT施工を活用して建設現場の生産性向上と高度化を実現。
能登半島の先端で最先端技術を駆使し、一日も早い復旧復興を確実に。



- 工事用道路
- 一般道路
- 海岸道路(土砂受入れ用)

- ① 自律運転 バックホウで、土質改良機“リテラ”へ投入
- ② 遠隔操縦 バックホウで、アーティキュレートダンプに積込
- ③④ 自動運転 アーティキュレートダンプで運搬・放土
- ⑤ 自動運転 ブルドーザーにて敷均し

“遠隔”と“自動”を融合し
安全確保と省人化を実現！



1 遠隔操縦バックホウ : サロゲート

- ・建機の操作レバーに後付け装置を装着することで遠隔操縦が可能

サロゲート



2 ロボット建機の司令塔: 建機FMS

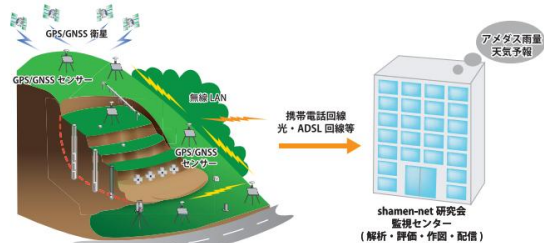
- 自動化建機を含む建機群の司令塔として、作業工程を安全に繋ぐシステムです



建機FMS: 建機フリート
マネジメントシステム

3 崩落自動監視 : GNSS自動監視

- ・GNSS(人工衛星)にて地山(崩落箇所)の挙動を自動監視



4 物流ドローン : スマートドローン

- ・上空から作業員への物資運搬・運搬補助
- ・近未来、生活圏でも想定される技術



Flycart30



5 4足自動ロボット : 山猫 M20 (英名 LYNX)

- ・ロボットによる陸上での現場内巡回
- ・作業員への物資運搬・運搬補助

